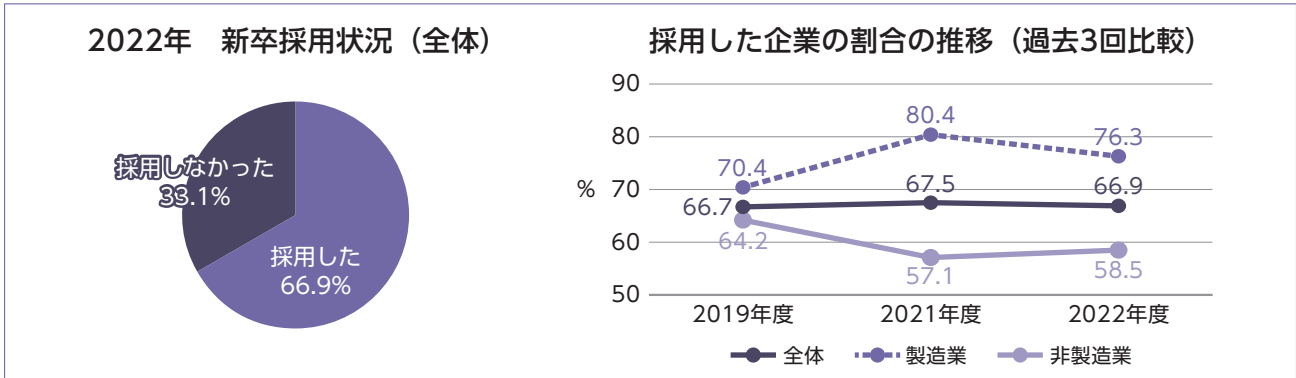


# 新卒採用動向、外国人留学生採用状況及び

## 1. 2022年度（2022年4月採用）の新卒者採用の有無及び2023年度（2023年度4月採用）計画について

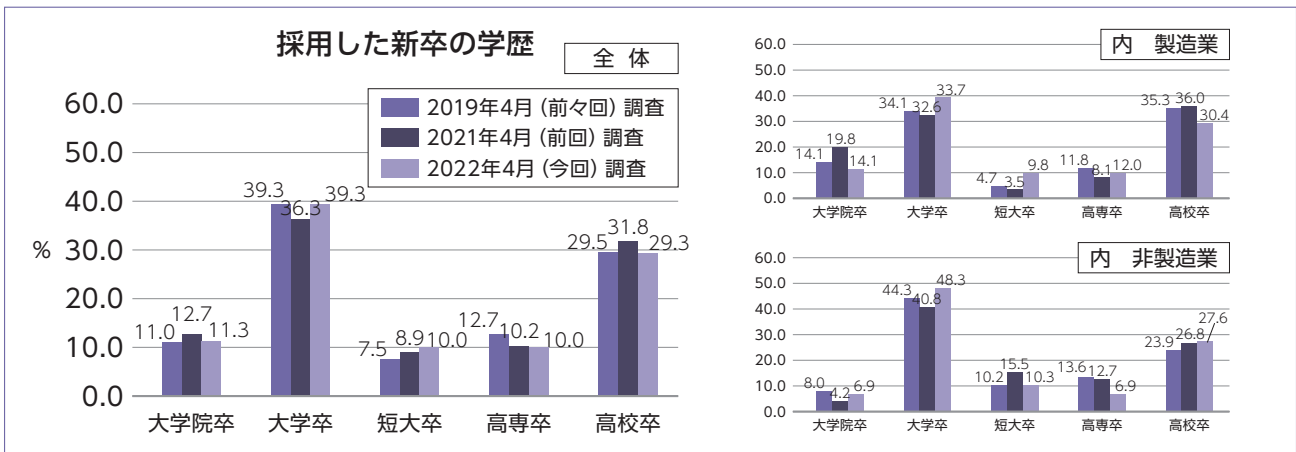
(1) 2022年4月新卒採用を行いましたか。

※2020年度は調査を実施していない



◇全体では昨年から0.6%減少とほぼ横ばいだが、コロナ前の2019年度と比べると製造業は新卒採用率が伸び、非製造業は減少している。

(2) 採用した新卒の学歴 (複数回答可)



◇学歴別では大学卒の採用比率が最も多く、次いで高校卒、大学院卒、高専卒、短大卒となっている。

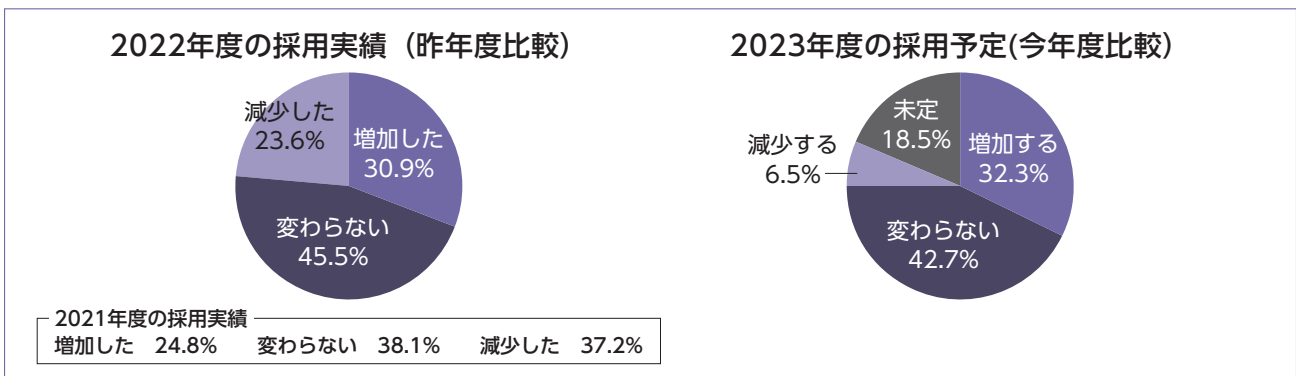
◇非製造業では大学卒重視の傾向が続いている。製造業の高校卒が-5.6%と大きく減少している。

(3) 新卒採用をしなかった理由・・・ (1) で採用しなかったと回答した企業の内訳

- ①採用の予定がなかった (25社)
- ②応募がなかった (7社)
- ③既卒採用を行った (7社)
- ④応募はあったが採用には至らなかった (2社)

◇新卒採用を行わなかったうち6割は採用の予定がなかったが、4割は採用活動を行っているにも関わらず、採用に至らないまたは既卒採用で対応している。

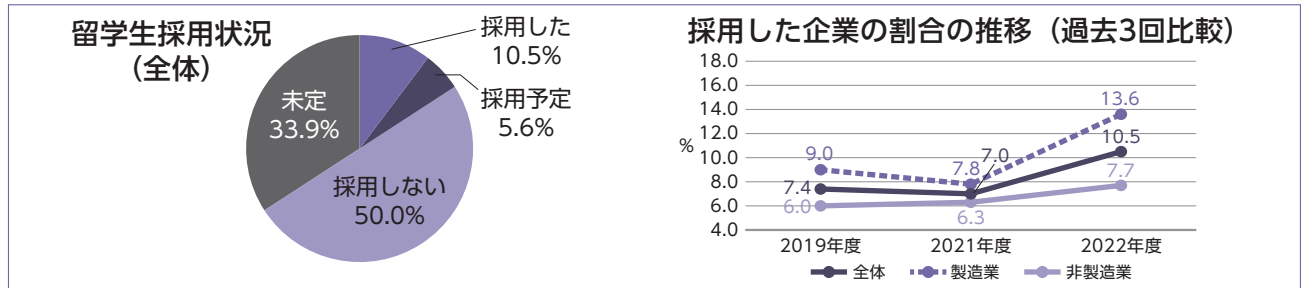
(4) 2022年4月の採用実績と2023年度の採用予定について



◇2022年4月の採用実績は前年調査と比較すると、全体では増加した+6.1%、変わらない+7.4%、減少した-13.6%であり、大幅に改善している。また、2023年度の採用予定は、全体では増加する+3.1%、変わらない+2.0%、減少する-5.0%、未定-0.1%であり改善傾向が続きそうである。

## 2. 外国人留学生の採用について

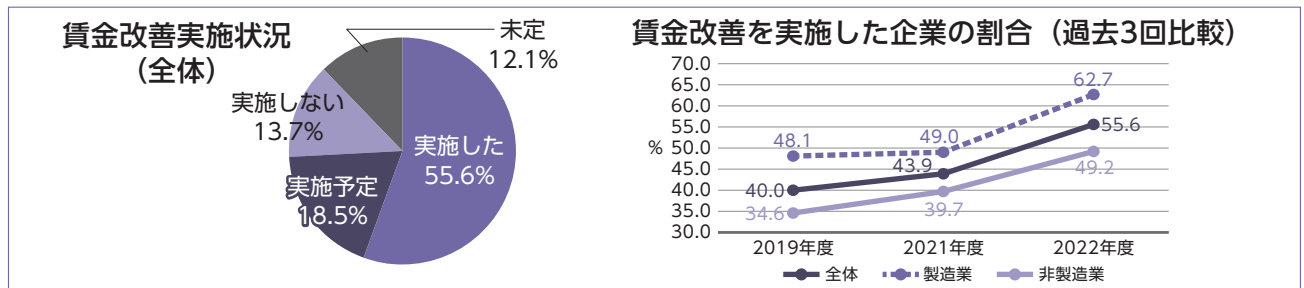
(1) 2022年度中（2022年4月～2023年3月）に外国人留学生を採用した、または採用する予定がありますか？



◇外国人留学生を「採用した」・「採用予定」の全体は16.1%と前年と比べて+5.7%であった。「採用した」企業の割合は、昨年がコロナ前と比べて微減あったが、今年は大幅増となった。特に製造業において大幅な増加が見られた。

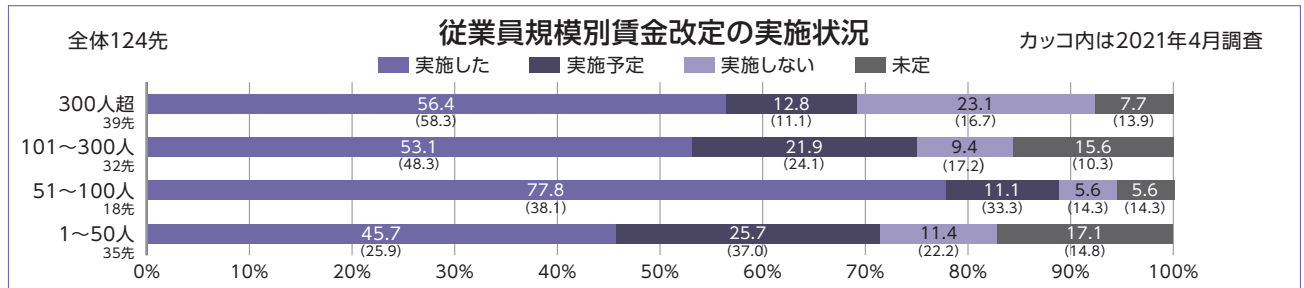
## 3. 2022年度の賃金改善結果 (見込み) について

(1) 2022年度は賃金改善を実施しましたか？



◇賃金改善を「実施した」・「実施予定」の比率合計値は、全体は74.1%と前年比+4.8%。過去3回の「実施した」企業の割合を比べると、2019年度のコロナ前よりも大きく改善している。

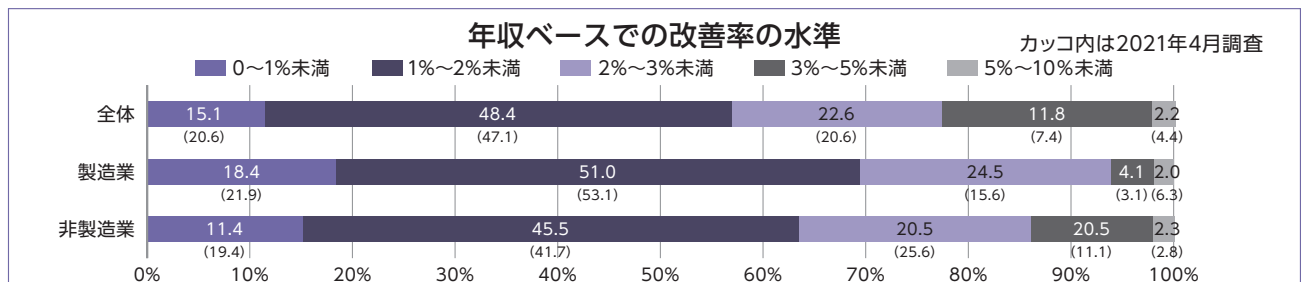
### \* 従業員数別賃金改定の実施状況



◇「実施した」・「実施予定」の比率合計値を前年度と比較すると、従業員300人超は69.2%で-0.2%、従業員101~300人は75%で+2.6%、従業員51~100人は88.9%で+17.5%、従業員1~50人は71.4%で+8.5%となっており、前回減少が目立っていた中小規模で増加傾向が高い。

(2) 年収ベースでの改善率の水準は？

(1) の質問で、「実施した」及び「実施する予定」と回答した先に質問



◇年収ベースの改善率水準は、全体では「1~2%未満」が48.4%と最も多く、次いで「2~3%未満」が22.6%、「0~1%未満」が15.1%となっている。前年度の水準と比較すると、製造業は「2~3%未満」、非製造業は「3~5%未満」の割合が増加していて、全体としても改善率の水準が高くなっている。

◇参考として、経団連が実施した従業員数500人未満の中小企業の2022年春闘妥結状況の第1回集計の賃上げ率は1.97% (前年の同調査1.72%)である。